



Fujitsu Notebook LIFEBOOK

リカバリガイド

Windows 11

本書について

このマニュアルは、改善のため変更することがあります。最新のマニュアルは、インターネット上のマニュアル（<https://www.fmwORLD.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>）をご覧ください。

目次

本書をお読みになる前に.....	3
本書の表記.....	3
1. 必要に応じてお読みください.....	5
1.1 内蔵ストレージ構成.....	5
1.2 内蔵ストレージ全体をリカバリする.....	6
1.2.1 注意事項.....	6
1.2.2 内蔵ストレージ全体をリカバリする場合の考え方.....	7
1.2.3 内蔵ストレージ全体をリカバリする前の準備.....	8
1.2.4 内蔵ストレージ全体のリカバリを実行する.....	10
1.3 セットアップ.....	11
1.3.1 注意事項.....	11
1.3.2 セットアップする.....	12
1.3.3 セットアップ後に実行する.....	12
1.3.4 セットアップ後のインストール状態.....	12
2. 補足情報.....	13
2.1 起動メニューの表示のしかた.....	13
2.2 「リカバリ USB メモリ」を使わずに本製品の状態を回復する.....	14
2.2.1 「この PC を初期状態に戻す」機能の注意事項.....	14
2.2.2 「この PC を初期状態に戻す」の種類.....	15
2.2.3 回復ドライブ (USB) を作成する.....	16
2.2.4 「この PC を初期状態に戻す」手順.....	17

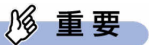
本書をお読みになる前に

本書の表記

本書は 2026 年 5 月現在の内容です。本書をお読みになり、ご不明な点がございましたら、『取扱説明書』に記載の「お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 本文中の記載

本文では、「内蔵フラッシュメモリ」を総称して「内蔵ストレージ」と記載しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本書では、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

■ 本書に記載している仕様とお使いの機種との相違

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載しています。ご購入時の構成によっては、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。なお、本文内において、機種や OS 別の書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

■ ユーザーアカウント制御ウィンドウ

本書で説明している Windows の操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前に Windows が表示しているものです。表示されるメッセージに従って操作してください。

■ 「スタート」ボタンからアプリを起動する

本書では、アプリを表示する手順を、「スタート」メニューの「すべて」のビューを「一覧」に切り替えた状態で説明しています。

■ 製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Windows 11 Pro	Windows 11	Windows
Windows 11 Pro Education		

■ 商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright 2026 Fujitsu Limited

1. 必要に応じてお読みください

1.1 内蔵ストレージ構成

内蔵ストレージは、次の領域から構成されています。

- 「OS、アプリ、ドライバー」などの領域と空き領域
- 「Windows RE 領域」、「システム領域」

POINT

- ▶ 「Windows RE 領域」、「システム領域」は、Windows からは見えない領域です。

本製品の内蔵ストレージ構成につきましては、「カタログ/オプション品対応一覧」のページで公開している LIFEBOOK カタログ内の「ストレージ空き容量について」をご覧ください。

URL は次のとおりです。

https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/catalog_syskou/

なお、ご覧になる時期によっては、本製品の情報が記載されていないことがあります。その場合は、「今までに発表した製品」から製品名を選択し、ご覧ください。

URL は次のとおりです。

<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/former/>

1.2 内蔵ストレージ全体をリカバリする

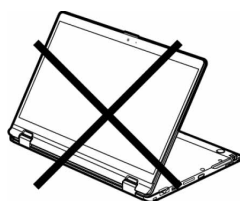
内蔵ストレージ全体をリカバリします。変更したドライブ構成を元に戻す場合にもこの作業が必要です。

1.2.1 注意事項

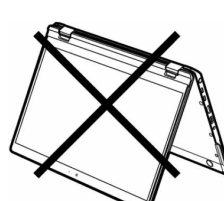
- 内蔵ストレージ全体をリカバリすると、内蔵ストレージのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- 内蔵ストレージ全体をリカバリするには、リカバリ USB メモリが必要です。
- LIFEBOOK U シリーズ（コンバーチブル・タイプ）の場合は、次のようにノートブックモードの状態でリカバリを行ってください。



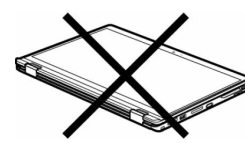
ノートブックモード



スタンドモード



テントモード



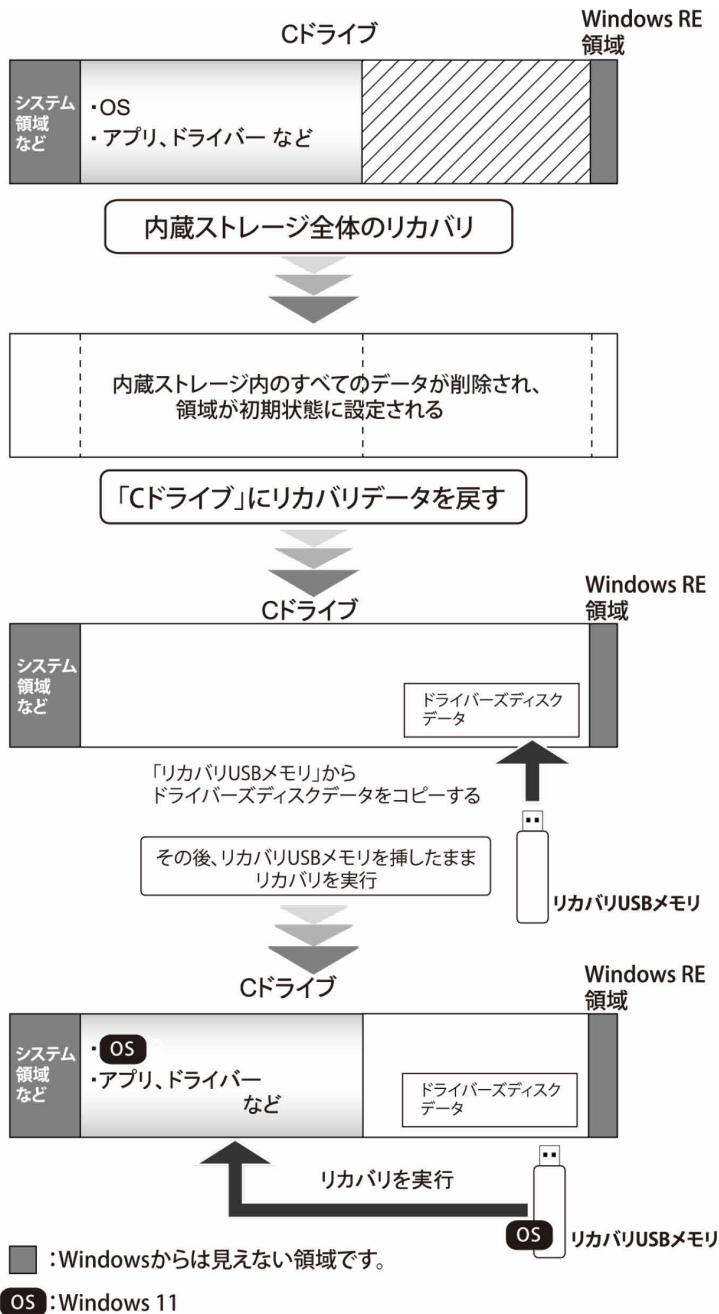
タブレットモード

- リカバリする前に、必ず AC アダプタを接続してください。
- リカバリ作業中は、液晶ディスプレイを閉じないようにしてください。
- セキュリティチップ搭載機種やセキュリティ機能内蔵機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、内蔵ストレージ全体をリカバリする前に復元用のバックアップをしてください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また、デバイスの暗号化または BitLocker ドライブ暗号化が行われている場合、「デバイスの暗号化または BitLocker ドライブ暗号化を無効にする」（→P.9）をご覧ください。暗号化を解除してください。
- 本製品から、USB メモリ、外付けストレージ、プリンタなどすべての周辺機器を、必ず取り外してください（リカバリ作業に必要なキーボード、マウスを除く）。
- デバイスドライバーのインストールが必要な機器の場合、リカバリ作業に必要な機器であっても、リカバリ作業時に接続しているとリカバリに失敗する場合があります（例：指紋認証／手のひら静脈センサー付きキーボード、タッチ機能付きディスプレイなど）。この場合は、デバイスドライバーのインストールを必要としない機器を別途ご用意いただき、リカバリを実施してください。
- 外部メディアを接続したまま、リカバリ作業や内蔵ストレージの領域設定を行うと、外部メディアに保存されているデータが削除される場合があります。
- モデルやカスタムメイドの選択によって、リカバリした後にアプリやドライバーのインストールが必要になります。詳しくは「1.3.4 セットアップ後のインストール状態」（→P.12）をご覧ください。
- タッチパネル搭載機種の場合、タッチパネルでの操作はできません。キーボードまたはマウスで操作してください。
- 内蔵ストレージ全体をリカバリするには時間がかかります。時間に余裕をもって、作業してください。

1.2.2 内蔵ストレージ全体をリカバリする場合の考え方

いったん内蔵ストレージ内のすべてのデータが削除され、領域がご購入時の状態に設定されます。続いてCドライブにリカバリデータを戻し、その後リカバリを実行します。

■ リカバリのイメージ図



1.2.3 内蔵ストレージ全体をリカバリする前の準備

内蔵ストレージ全体をリカバリする前に、次の準備を行ってください。

■ リカバリ USB メモリを用意する

内蔵ストレージ全体をリカバリするには、リカバリ USB メモリが必要です。

リカバリ USB メモリがお手元がない場合は、「2.2 「リカバリ USB メモリ」を使わずに本製品の状態を回復する」（→P.14）をご覧ください。

■ AC アダプタを接続する

内蔵ストレージ全体をリカバリするときには、必ず AC アダプタを接続してください。

■ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合は、ご購入時の設定に戻します。

BIOS セットアップの操作方法については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（共通編）』をご覧ください。

重要

- ▶ 設定が異なると、Windows が起動しなかったり、正常にリカバリが完了しなかったりすることがありますので、必ず確認してください。

☐ BIOS 設定

POINT

- ▶ 「BIOS パスワード」や「管理者用パスワード」を設定されている場合は、BIOS セットアップを「管理者用パスワード」で起動する必要があります。

BIOS セットアップ画面の「終了」メニューから「標準設定値を読み込む」を実行します。

■ デバイスの暗号化または BitLocker ドライブ暗号化を無効にする

セキュリティチップ搭載機種やセキュリティ機能内蔵機種で、デバイスの暗号化または BitLocker ドライブ暗号化が有効になっている場合は、お使いの暗号化機能に合わせた手順で暗号化を無効にしてください。

■ デバイスの暗号化を無効にする

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。
2. ウィンドウ右の「デバイスの暗号化」をクリックします。
「デバイスの暗号化」が表示されていない場合、対象装置ではありません。リカバリに進んでください。

POINT

- ▶ BitLocker ドライブ暗号化が設定されている場合は、「BitLocker ドライブ暗号化を無効にする」の手順をご覧ください。

3. 「デバイスの暗号化」を「オフ」にします。

■ BitLocker ドライブ暗号化を無効にする

1. 「スタート」ボタン→「すべて」の「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「システムとセキュリティ」→「BitLocker ドライブ暗号化」の順にクリックします。
 - ・「BitLocker を無効にする」と表示されている場合、手順 3 に進んでください。
 - ・「BitLocker を有効にする」と表示されている場合、BitLocker ドライブ暗号化は無効になっています。リカバリに進んでください。
3. 「BitLocker を無効にする」をクリックします。

POINT

- ▶ 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」ウィンドウが表示された場合は「はい」をクリックします。

4. 「BitLocker を無効にする」ボタンをクリックします。

■ BIOS 設定の「セキュアブート機能」を無効にする

重要

- ▶ 本書は 2026 年 5 月現在の内容です。マイクロソフト社による Windows の更新に伴い、このマニュアルを改善のため変更することがあります。最新のマニュアルは、インターネット上のマニュアル『リカバリガイド』をご覧ください。

BIOS セットアップの操作方法については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（共通編）』をご覧ください。

BIOS セットアップ画面の「セキュリティ」メニューの「セキュアブート設定」から「セキュアブート機能」を「使用しない」に設定します。

POINT

- ▶ マイクロソフト社のサポート情報「KB5025885」で Windows ブートマネージャーの失効が適用済みの場合、あわせて BIOS セットアップで、「セキュアブート設定」から「署名情報の初期化」が必要です。

1.2.4 内蔵ストレージ全体のリカバリを実行する

重要

- ▶ 内蔵ストレージ内のすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

1. 製品本体の電源が切れた状態で、リカバリ USB メモリをセットします。
2. 起動メニューを表示します。
お使いの機種により操作が異なります。詳しくは「2.1 起動メニューの表示のしかた」(→P.13)をご覧ください。
3. カーソルキーでリカバリ USB メモリを選択し、【Enter】キーを押します。
そのまましばらくお待ちください。「ディスク全体をご購入時の状態に戻す」が表示されます。
4. 「ディスク全体をご購入時の状態に戻す」画面の「アプリの使用条件」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「同意する」がクリックできない場合は、「アプリの使用条件」を最後までスクロールしてください。
5. 画面のメッセージに従って操作します。
この後は、ディスクの確認の後、
 1. ストレージの領域を設定する
 2. リカバリデータを復元する
 3. リカバリを実行する
 4. 最終処理を実行するの順に進みます。
「リカバリが完了しました。」というメッセージが表示されたら手順6に進んでください。
6. リカバリ USB メモリを取り出し、「完了」をクリックします。
製品本体の電源が自動的に切れます。

以上で内蔵ストレージ全体をリカバリする操作が終了しました。

続けて、「1.3 セットアップ」(→P.11)をご覧ください。なお、電源は30 秒以上待ってから入れてください。

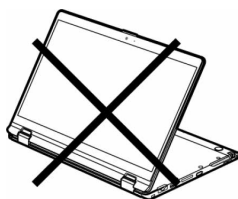
1.3 セットアップ

1.3.1 注意事項

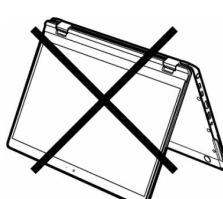
- LIFEBOOK U シリーズ（コンバーチブル・タイプ）の場合は、次のようにノートブックモードの状態ですべてのセットアップを行ってください。



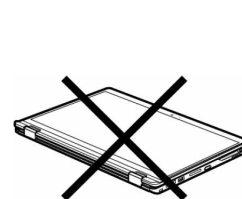
ノートブックモード



スタンドモード



テントモード



タブレットモード

- セットアップする前に、必ず AC アダプタを接続してください。
- セットアップ作業中は、液晶ディスプレイを閉じないようにしてください。
- セットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
 - ・ 周辺機器（セットアップ作業に必要なキーボード、マウスを除く）
 - ・ 拡張カード
 - ・ 2 台目のディスプレイ
 - ・ BIOS の設定
- セットアップの前に SIM カードをセットしないでください。（無線 WAN モデル）
- セットアップは無線 LAN や有線 LAN に接続した状態で行ってください。
- タッチパネル搭載機種の場合、タッチパネルでセットアップの操作はできません。キーボードまたはマウスで操作してください。
- デバイスドライバーのインストールが必要な機器の場合、セットアップ作業に必要な機器であっても、セットアップ作業時に接続しているとセットアップに失敗する場合があります（例：指紋認証／手のひら静脈センサー付きキーボード、タッチ機能付きディスプレイなど）。この場合は、デバイスドライバーのインストールを必要としない機器を別途で用意いただき、セットアップを実施してください。
- 外部メディアを接続したまま、セットアップ作業を行うと、外部メディアに保存されているデータが削除される場合があります。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押したり、画面を操作したりすると、Windows セットアップが完全に行われなかった場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、操作してください。
- Windows セットアップが進められなくなった場合、次のように操作してください。
電源ボタンを 4 秒以上押して、製品本体の電源を一度切り、セットアップをやり直してください。
セットアップがやり直せない場合は、リカバリを行ってください。リカバリについては、「1.2 内蔵ストレージ全体をリカバリする」（→P.6）をご覧ください。
- Windows セットアップの途中で、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、お使いのディスプレイに合わせたドライバーをインストールしてください。
- リカバリ後のセットアップには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

1.3.2 セットアップする

製品本体の電源を入れ、表示された画面のメッセージに従ってセットアップを行います。
詳しい手順や注意事項につきましては、『取扱説明書』をご覧ください。

1.3.3 セットアップ後に実行する



重要

- ▶ 本書は 2026 年 5 月現在の内容です。マイクロソフト社による Windows の更新に伴い、このマニュアルを改善のため変更することがあります。最新のマニュアルは、インターネット上のマニュアル『リカバリガイド』をご覧ください。

■ Windows Update

インターネットに接続し、Windows を最新の状態に更新します。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

■ BIOS 設定の「セキュアブート機能」を有効にする

BIOS セットアップの操作方法については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（共通編）』をご覧ください。

BIOS セットアップ画面の「セキュリティ」メニューの「セキュアブート設定」から「セキュアブート機能」を「使用する」に設定します。

1.3.4 セットアップ後のインストール状態

お使いのモデルやカスタムメイドの選択によって、セットアップ後のアプリやドライバーのインストール状態が異なります。必要に応じて、アプリやドライバーをインストールしてください。

■ アプリやドライバーのインストール状態

ドライバー類
すべてのドライバー類がインストールされます。

この後は、『取扱説明書』をご覧になり、セットアップの後に必要な操作を行ってください。

2. 補足情報

2.1 起動メニューの表示のしかた

ここでは、起動メニューの表示のしかたを説明します。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの「起動メニュー」が「使用しない」の設定になっている場合、起動メニューは表示されません。設定を「使用する」に変更してください。
BIOS セットアップの操作方法については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（共通編）』をご覧ください。
「起動メニュー」はお使いの機種によって「起動」メニュー、「セキュリティ」メニュー、「起動メニュー」、「詳細」メニュー、「起動メニュー」、または「Security」メニュー、「Boot Menu」のように表示される場合があります。
- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、本製品の電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

1. 【F12】キーを押したまま、本製品の電源を入れます。

2. ビープ音が鳴ったら【F12】キーを離します。

起動メニューが表示されます。

POINT

- ▶ 手のひら静脈や指紋を登録した場合は、認証を行ってください。
- ▶ 高速起動が有効になっているため USB キーボードが使えない場合があります。内蔵キーボードを使って操作してください。

2.2 「リカバリ USB メモリ」を使わずに本製品の状態を回復する

「リカバリ USB メモリ」をお持ちでない場合は、内蔵ストレージをご購入時の状態にリカバリすることはできません。

ただし、Windows 11 には、トラブルに備え、以前の状態に戻す機能が搭載されており、この機能を使うことが可能です。ここでは、内蔵ストレージ内のデータから本製品をご購入時に近い状態に回復する方法「この PC を初期状態に戻す」について説明します。

重要

- ▶ ここで説明する方法は、Windows 11 標準の機能です。
今後、Windows の更新により、手順や画面の表示が変更される場合があります。詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。

2.2.1 「この PC を初期状態に戻す」機能の注意事項

- ご購入時に近い状態に戻るため、削除されるデータもあります。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- Windows に適用されたロールアップ（修正プログラム、セキュリティ修正プログラム、重要な更新およびアップデートを配布しやすいように 1 つにまとめた累積的なパッケージ）は、「この PC を初期状態に戻す」を行っても、適用された状態が維持されます。
- 「この PC を初期状態に戻す」を行う前に、必ず AC アダプタを接続してください。
- 本製品から、外付けストレージ、プリンタなどすべての周辺機器を、必ず取り外してください。
- 「この PC を初期状態に戻す」を行うと、本製品をご購入された後にインストールされたアプリは削除されます。
- 「この PC を初期状態に戻す」を行うには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

重要

- BitLocker ドライブ暗号化を有効にしている場合は、事前に BitLocker 回復キーを取得してください。次の手順で BitLocker 回復キーを取得し、大切に保管してください。なお、この操作は他のパソコンやタブレットでも行うことができます。
 1. 次の URL にアクセスし、Microsoft アカウントでサインインします。
<https://windows.microsoft.com/recoverykey>
この後は、画面の指示に従って操作してください。
 2. 「BitLocker 回復キー」が画面に表示されたら、印刷したりメモをとったりして大切に保管します。
- 「この PC を初期状態に戻す」手順で、「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、BitLocker 回復キーを入力し、「続行」をクリックしてください。
- 「この PC を初期状態に戻す」手順で、初期化が開始された後、「オプションの選択」画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。初期化が再開されます。

2.2.2 「この PC を初期状態に戻す」の種類

■ 個人用ファイルを保持する

消去されないデータについても念のためバックアップを取ったり、メモしたりすることをお勧めします。個人用ファイルは次のパスの配下のデータです。

C:\Users

「個人用ファイルを保持する」を選択した場合、個人用ファイルは消去されません。しかし、次のパスの配下のデータは消去されます。この配下にはアプリに固有のアプリ設定、ファイル、データが含まれます。

C:\Users\%[ユーザー名]\AppData

■ すべて削除する

- ファイルの削除のみ行う

ほぼご購入時の状態に戻ります。アカウントも削除されるので、セットアップをやり直す必要があります。

- ドライブを完全にクリーンアップする

消去されるものは「すべて削除する（ファイルの削除のみ行う）」と同じですが、簡単に回復できないように完全に削除されます。そのため操作に数時間かかります。他人にパソコンを譲渡するなど完全にデータを削除したいときにお使いください。

2.2.3 回復ドライブ（USB）を作成する

Windows 11 には、USB メモリを使って、回復ドライブ（USB）を作成する機能があります。回復ドライブ（USB）を作成した時点のシステムファイルに戻ることができるため、ご購入時により近い状態に回復することができます。

重要

- ▶ 万が一に備え、回復ドライブ（USB）をできるだけ早く作成しておくことをお勧めします。
- ▶ 回復ドライブ（USB）の作成には、USB メモリが必要です。32GB 以上の空き容量がある USB メモリのご利用をお勧めします。
- ▶ 管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください。
- ▶ 回復ドライブ（USB）を作成、または回復ドライブ（USB）で起動して操作するときは、必ず AC アダプタを接続してください。
- ▶ 回復ドライブ（USB）を作成には時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

1. 「スタート」ボタンの横にある検索ボックスで、「回復ドライブの作成」を検索して選択します。
2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
3. 「回復ドライブの作成」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

POINT

- ▶ 「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」は、チェックを付けたままにしてください。
4. 「USB フラッシュドライブの接続」と表示されたら、USB メモリを接続します。
 5. 「USB フラッシュドライブの選択」と表示されたら、「使用可能なドライブ」に保存先として使用するドライブが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

POINT

- ▶ 「使用可能なドライブ」に複数のドライブが表示されている場合は、使用するドライブをクリックします。
6. 「回復ドライブの作成」と表示されたら、「作成」をクリックします。
 7. 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をクリックします。
作成した回復ドライブ（USB）を大切に保管してください。

2.2.4 「この PC を初期状態に戻す」手順

■ 「オプションの選択」画面を表示する

☐ 回復ドライブ（USB）を事前に作成していた場合

1. 本体の電源が切れた状態で、回復ドライブ（USB）をセットします。
2. 起動メニューを表示します。
「2.1 起動メニューの表示のしかた」（→P.13）をご参照ください。
3. カーソルキーで回復ドライブ（USB）を選択し、【Enter】をクリックします。
4. 「キーボードレイアウトの選択」と表示されたら、「Microsoft IME」をクリックします。
5. 「オプションの選択」画面が表示されます。

☐ Windows 11 が起動している場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」の順にクリックします。
2. ウィンドウ左の「システム」を選択し、ウィンドウ右の「回復」をクリックします。
3. ウィンドウ右の「今すぐ再起動」をクリックします。
4. 「デバイスを再起動するため作業内容を保存します」ウィンドウの「今すぐ再起動」をクリックします。
5. 「オプションの選択」画面が表示されます。

☐ 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合

BitLocker 回復キーを入力し、「続行」をクリックしてください。

☐ 初期化が開始された後、「オプションの選択」画面が表示された場合

「続行」をクリックしてください。初期化が再開されます。

☐ 「自動修復」画面が表示された場合

Windows が起動しないとき、しばらく待っていると「自動修復」画面が表示されることがあります。「再起動」をクリックしても Windows が正常に起動せず、また「自動修復」画面が表示された場合、「詳細オプション」をクリックしてください。

「オプションの選択」画面が表示されます。

■ 「オプションの選択」画面からの手順

回復ドライブ（USB）を使う場合と使わない場合で手順が異なります。ご利用の状況により選択してください。

POINT

- ▶ 「オプションの選択」画面の表示方法は、「「オプションの選択」画面を表示する」の次の箇所をご覧ください。
 - ・「回復ドライブ（USB）」使用する場合：「回復ドライブ（USB）を事前に作成していた場合」（→P.17）
 - ・「回復ドライブ（USB）」使用しない場合：「Windows 11 が起動している場合」（→P.17）

☐ 「回復ドライブ（USB）」を使用する場合

1. 「オプションの選択」画面で、「ドライブから回復する」をクリックします。
2. 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。
3. 「ファイルの削除のみ行う」、または「ドライブを完全にクリーンアップする」のどちらかをクリックします。
4. 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？ これは元に戻せません。」と表示されたら、「回復」をクリックします。

回復が開始されます。電源を切らずにお待ちください。

お住まいの地域を確認する画面が表示されたら、『取扱説明書』をご覧ください。本製品のセットアップを行ってください。

☐ 「回復ドライブ（USB）」を使用しない場合

1. 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をクリックします。
2. 「トラブルシューティング」画面で、「この PC を初期状態に戻す」をクリックします。

● 「個人用ファイルを保持する」場合

1. 「個人用ファイルを保持する」をクリックします。
2. 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。
3. 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示された場合、お使いのアカウントをクリックします。
4. 「このアカウントのパスワードを入力してください。」と表示された場合、パスワードを入力し、「続行」をクリックします。
5. 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示された場合、「ローカル再インストール」をクリックします。
6. 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？ これは元に戻せません。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。Microsoft アカウントのパスワード入力を求められたら入力してください。デスクトップが表示されたら、初期化は完了です。

 POINT

- ▶ デスクトップアプリが消去された場合、デスクトップに「削除されたアプリ.html」が作成されます。消去されたデスクトップアプリ一覧が確認できます。
- 「すべて削除する」場合
 1. 「すべて削除する」をクリックします。
 2. 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。
 3. 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示された場合、「ローカル再インストール」をクリックします。
 4. 「ファイルの削除のみ行う」、または「ドライブを完全にクリーンアップする」をクリックします。
 5. 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？ これは元に戻せません。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。
初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。
 6. お住まいの地域を確認する画面が表示されたら、『取扱説明書』をご覧になり、本製品のセットアップを行ってください。

リカバリガイド
B5FL-4091-01 Z0-00

発行日 2026 年 5 月
発行責任 富士通株式会社

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。